

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 18日

事業所名 児童発達支援ルートちぐさ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		9	・仕切りを使っている。 ・スペースは十分ではないが仕切りを使用している。	・個別スペースの確保が必要 →視覚的な配慮もできる仕切りを導入して個別スペースの確保に務めていきます。
	2	職員の配置数は適切である		8	1	・セラピストは担当に入れずに利用人数にプラス1人が必要。 →ご提案ありがとうございます。現職員体制でどう工夫できるのか再度検討していきます。全職員でアイデアを出していき、一緒により良い体制づくりを模索していきましょう。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		7	2	・時間割表を活用していきたい。  ・職員用トイレの設置、シャワーなどを設置してほしい ・シャワーの設置やトイレ(個室)扉の設置、職員用トイレ設置は必要と感じている。 →建物構造上の問題、工期期間の兼ね合いなど課題がありますが、現状でどう工夫できるのか再度専門業者にも依頼してみても検討します。要望出していきたいです。ありがとうございます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		8	1	・扇風機の修理又は台数の増加、湿気などの不快感の排除 →壁掛け式扇風機を取り付ける方向で進めていけたらと考えております。 ・お湯が出るようにしてほしい →3同様再度専門業者に依頼してみます。 ・個室の部屋が必要だと思う →スペース確保のために仕切りや児童にあった机椅子など必要に合わせた環境づくりをしていきます。ご提案ありがとうございます。
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		8	1	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		9		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	4		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		隔週土曜PMや月1回の水曜AMを利用して研修を行っている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9			・アセスメントの取り方は今後とも勉強していきたい
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	3		NCプログラム活用していきたい
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9			活動内容はより良くするために精査していきたい。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	9			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		朝MTGで実施。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2	終了後打合せと支援開始前の打合せを工夫して朝行っているのが良い。次の日の朝に行っている。	・中々当日では振り返りの時間が持っていないので、時間の調整が必要。当日できなくても翌日にはできるようにしたい。 ・振り返りや子どもの情報共有をミーティングではなく支援当日にグループLINEで共有した方がよいのではないかと →ご意見ありがとうございます。現状の業務軽減やツールを用いて漏れのない情報共有ができるよう検討してみます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		保訪も利用していく	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1		少しずつ交流や情報交換を図っていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	7		これからは参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		HUGを利用している。次年度は保護者面談も取り入れる	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	1	面談を設けるなど実施していく。トレーニング期間は設けていないが個別支援やLINE又は送迎時を利用して支援している。	家族支援プログラムについてどのようなものかわかりません。 →ルートでは、特性の説明、その特性に合わせた対応、都度成長に合わせた見通しの持ち方など、現場の先生、児発管、STなどが必要に応じて直接お話ししたり、サービス記録やLINEにて情報共有しています。ペアトレなど理論に基づいたプログラムもありますので機会があれば受講していただき一緒に学んでいきましょう。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	2	親子行事を開催している。	・保護者同士で話す機会を増やしていきたい。 ・とても大事な事なので、力を入れていきたい。 ・外部講師や当事者の話を聞く機会を設けたり親子行事の他に父母、祖父母も参加する会などもあったほうがいい。 →次年度の行事予定の参考にさせていただきます。ご提案ありがとうございます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1		・年計画など早めの周知や、ルート便りの発行、ブログの更新 →次年度の年計画早めに周知できるよう頑張ります。また情報発信のツールを上手く使い切れていないのが現状です。今後の課題として取り組んでいきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	6		他事業所等と一緒に行事計画をしてもいいと思う。 →とても良い提案だと思います。運営に無理のない範囲から取り組んでみましょう。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	1		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9			同一通路だけではなく、別ルートからの避難訓練も実施すべき →ご意見ありがとうございます。様々なシチュエーションを想定した訓練ができるよう園側とも情報共有させていただきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1		予防接種有無は利用前に確認していきたい。 →ご意見ありがとうございます。様式を作成して、聞き漏れを防いで対応していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1	・送迎時などのやむを得ない身体拘束について保護者への事前説明あり	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。